

『赤ちゃんのための虫歯菌感染対策システム～虫歯0達成プログラム』

はじめに

このたびは本テキスト

「赤ちゃんのための虫歯菌感染対策システム～虫歯0達成プログラム」を
申込みしていただきありがとうございます。

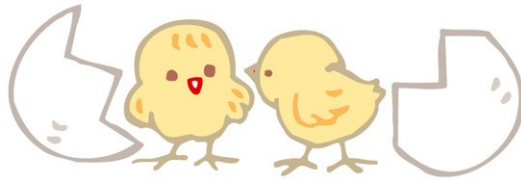
あなたさま、そして赤ちゃんおよびご家族のみなさまにかならずやお役に立てると
思います。

みなさまの喜んでいる顔をイメージしながらやっとできあがりしました。

このテキストはあなたのご家族から、これから生まれてくる赤ちゃん、あるいは
もうお生まれになった赤ちゃんへの虫歯菌感染をたち切る方法を教えるためのものです。
お母さんがお子さまの歯医者さんになっていただけるようにわかりやすく解説しています。
そしてぜひ虫歯のまったくない健康な子どもに育てていただきたいと思って
膨大な国内、海外の研究データ、参考資料をもとに13ヶ月以上の歳月をかけて
完成させました。

虫歯菌の感染をふせぐことは科学的に、理論的に可能な時代になりつつあります。
しかしその方法を具体的に説明できる歯科医はまだほとんどいません。

残念ですが日本は虫歯後進国です。歯のほんとうの大切さ、価値がじゅうぶん理解され
ていません。歯は人生に大きく影響します。歯でとても損している人がほとんどです。
最先端の歯科研究から生まれたこのプログラムを実践し
お子さまへの虫歯菌感染を予防してすばらしい環境を与えてあげてください。
そのために必要なのはまず知識そして実行力、最後に継続力です。
いくら知識があってもそれを実行しなければどうしようもありません。
そしていくら実行しても一時的なものではやがて感染し、虫歯ができてしまいます。
つまり対策の成功は習慣として継続できるかどうかにかかっているのです。
そのためテキストには図解、イラストを多用し読みやすくわかりやすく説明しています。
しっかり習得して身につけてください。



【著作権について】

「赤ちゃんのための虫歯菌感染対策システム～虫歯0達成プログラム」

（以下本教材と記す）は無料ですが著作権法により保護されている著作物です。

本教材の著作権は脇本安雅に属します。

著作権者の許可なく複製、流用および転載転記、転売、配布、翻訳等することを固く禁じます。

■ 教育講座受講上のご注意

本講座は第1～第7ステージまで全7ステージから構成されています。すべてを一度に読むとかなりの分量があります。といっても読みやすいように余白、図解、イラストをいれていますので、すらすら読んでいただけたらと思います。

しかし、1、2回読むだけで理解することは難しいと思われます。どんな本でも7回ぐらい読まないとその中身をすべて吸収できないといわれています。本講座も例外ではありません。できるかぎり一般のかた向けにわかりやすく、よみやすく、理解しやすいように配慮しておりますが、やはり何回も読みかえして理解を深めてください。読むたびに発見があり、理解がより深まるはずですよ。

ç v ç^{-*}+, -B9U+ w x y S 9Q+*6,678
9 V⁻ z *9aSi { | Bb06• 8
}~ „,672 • /9 €• ,f /9 ⁻ z R „... >? K78
•60 • ! †n ⁻ z R „... *-K /9 ‡ | R { | 1 ^%o :SH
2,3!2K78i3B Š! (VQ+ç£*+U-:,8

(P SH =] : 2= < : *B,6• 8<*+±²K.HBi3B1
7Ø+K78 ‘ 23 ÆEQ_ 9 €• KT6S+.678
³T •Ž 9H R 90 U,.S,9 (••‘ 1*/ª+U-:,8
<S = 0 B\H!2 K.9,R ‘B V K ¿CS9,7!C*, ’ oÍ
9 K7 8

)

W “ OP 4 ” n

• y OP – ! [È — R ~‘ å¹ ™ tO OP
6Dÿ š ! OPK[Èü0 › AW œ°9 z•ž a(ÿ CQ+,678
i ! \$% ‘B R W YZ (Ž•† =*\HV
45 ,6• K ç * £n ¢ ®(!\ n 9Q+,678 ! OPK
,6/9 VQ+,H ¢ ® ¥ (³ ¡ !b*+VC,678<37H!2 >0
</2 O § “ *,-®(cd *+,U!21K.678

• OP – „ \© K O#Òª R O#-® ™ tO OP
-®° K78«-9!2R ,••9!2R “ *,!2(-Q+,HBi3BK>T1
l.U «¬ :S6786D «-9 O- -®(*QB0 cd *+U-:,8
K.H-abB0E7UB.6* K‡c*E7,2!678

★第3ステージ＝リスク管理という考え方のマスターステージ

このステージも虫歯0達成にかかせない部分です。なぜこれまでの歯科治療で虫歯がなおらなかったのか、そのわけもわかります。**リスク**というキーワードがポイントです。あたらしい考え方ですので何度も読んでください。

★第4ステージ＝妊娠期～乳児期の注意事項と必要知識ステージ

このステージからいよいよ各論に入ります。もうご出産されたかたも必ず読んで下さい。妊娠、出産、乳児の育児について知っておかなくてはならないことをまとめています。**虫歯菌の感染予防は家族単位**で取り組まないと成功しにくいのでお父さんにもかならず読んでもらってください。

★第5ステージ＝虫歯0プロジェクト～プログラムマスターステージ

ここでは第2ステージをさらに深く解説していきます。本講座の中心部分になります。かなりボリュームがあるので最低でも**7回は読みかえ**してください。

★第6ステージ虫歯0達成へ応援、加速ステージ

おそらくはこのプログラムをきちんと実行、継続して注意事項をまもっていただければ多くのお子様は虫歯菌に感染することなく一生虫歯にならない元気で幸せな生活、豊かな人生がおけると期待しています。しかしあらかじめ知っておいてほしいことは虫歯菌感染＝虫歯発生ではないことです。

ですからもし虫歯菌感染したとしてもけっしてあきらめないでください。

というのも今現在この感染防止プログラム内容はほとんど知れ渡っていないため、現実的に虫歯菌にまったく感染しない子のごくわずかです。

現状では虫歯菌に感染しているのがふつうで常識です。

それを改善していくことがこのプログラムの目的です。

この最終ステージではもし感染した場合の注意点や今後の継続のポイントなどについてご説明します。

ここからが対策講座本編スタートです！

◎ ステージ1 ◎

本教材の目標、コンセプトのマスターステージ

第1ステージ目次

■0	虫歯0への道しるべ	_____	p 14
■1	目標と最終目的	_____	p 15
■2	中間目標	_____	p 17
■3	第一目標	_____	p 17
■4	方法と理論	_____	p 18
■5	家族全員で	_____	p 19
■6	基本コンセプト	_____	p 20
■7	子どもの歯は親しだい	_____	p 21
■8	当教材について	_____	p 22
■9	親の権利と義務、責任	_____	p 23
■10	教育の重要性と必要性	_____	p 24
■11	歯の生涯価値	_____	p 25
■12	歯と全身との関連	_____	p 27
■13	虫歯の世代継承	_____	p 28
■14	感染症とは	_____	p 29
■15	遺伝とは	_____	p 30
■16	歯科恐怖症とは	_____	p 31
■17	得られる多大なメリット、ベネフィット	_____	p 32
■18	エッセンス	_____	p 36

■ 1-0 虫歯への道しるべ

まず妊娠期間中から親自身の虫歯菌対策を実施し虫歯リスクを改善します。

これが第一段階になります。

そして出産後に赤ちゃんへの感染対策を実施します。

そのとき100%の確率で感染防止できればいいのですがそれは現実的に不可能です。

このプログラムをしっかりと実行し、継続していただければ、

大部分の方は感染防止できると思われませんが、それでも100%はありえません。

そしてここが大事なところですが

虫歯菌の感染がイコール虫歯の発生ではありません。

たとえ感染しても虫歯にさせないことは可能です。

したがって、もし感染した場合でも虫歯0達成を目標にあらかじめ考慮し、プログラムを構成しています。

虫歯菌感染していても虫歯のできやすさは科学的にコントロール可能な時代です。

それには

①できるだけ早期には感染させないこと。

②感染させた場合にそなえて虫歯菌の質、量をあらかじめ改善しておくこと。

この2つで虫歯の発生を防ぐことが可能です。

したがって早期に感染させないかぎり過度に心配する必要はありませんので安心してください。

このプログラムを実践するかしないかでまったく歯の運命が変わります。

どうぞ自信と信念をもって取りこんでください。



■ 1-1 目標と最終目的

このプログラムの目標は

「親から子どもへの虫歯菌感染を予防する方法をおしえること」です。

コンセプトは” お母さんが赤ちゃんの歯医者さんになる”です。

そして最終的な目的は

「実行されたご家族が健康で幸せな人生を送るための一助になること」です。

健康な状態は生きていくための目的ではありません。

健康は生きていくうえでのひとつの手段です。

でも健康は楽しく充実した幸せな生活をおくるためのたいせつな条件になります。
健康でなければ毎日の生活が心から楽しめません。

同じようにお金も生きていくうえでの目的ではありません。

お金も生活のためのひとつの手段です。

そしてお金をいくら持っていて健康でなければ困ります。（その逆も困りますが。）

したがって健康の維持と増進にお金を使うのは決してむだではありません。

じっさいに健康の維持増進や病気の予防にお金を費やすほうが、病気になって多大な治療費がかかるよりも費用対効果に優れていることはかすかすの調査からあきらかになっています。

病気を未然に防ぐほうがじつはとても安あがりなのです。

健康と同様に虫歯予防も最終の目的ではけっしてありません。

それはあくまでも快適に元気に楽しく生きていくための手段のひとつです。

人生の最終目的は楽しく幸せで豊かな生活をおくることだと私は思っています。

赤ちゃんが一生、虫歯にならず健康に充実した人生がおくれるとしたら

それは本当に素晴らしいことです。

健康な歯をもつことで生活の質いわゆるクオリティオブライフ（QOL）が向上し、
とても豊かな暮らしにつながります。

この教材の目標は、人生の目的達成に役立つ虫歯のない健康な歯という資産を
赤ちゃんにプレゼントする方法をおしえることです。

そしてその方法を実行することにより同時にご両親自身も虫歯の対策ができ
自分の歯がまもれます。

なぜなら、まずご両親の虫歯の危険性を低下させることが赤ちゃんへの
虫歯菌感染予防の第一歩だからです。

つまり親子の両方にWINWIN（ウィンウィン）のよい関係がうまれるしくみに
なっています。

感染対策、虫歯予防そのものが目的になってしまって楽しい暮らしがおくれないようなら
本末転等です。くれぐれもその点ご注意ください。

感染対策、虫歯予防は幸せで健康な人生を送るための手段です。

最終目的はお母さんお父さんから

あかちゃんに虫歯のない健康な歯をプレゼントしてもらい、

家族全員に楽しい暮らし、幸せな人生をおくっていただくことです。



■ 1-2 中間目標

プログラムを実行していくうえで、標準的な中間目標は

20才の成人式まで虫歯0を維持することと設定しています。

今それを達成できている人は統計資料からおよそ10~12%です。

わずか9~10人に1人の割合です。一般的にはかなりきびしい目標です。

ここをまず中間目標にしてみてください。そのあと20才以降については本人の責任となると思われます。北欧でも19才まではすべて無料で歯科検診、歯科治療が受けられますが、20才以上からは全額自己負担です。

もし成人式を虫歯なしで迎えられたらすばらしいことです。ぜひお子様の虫歯が1本もない状態で成人式を迎えられるようにしてあげてください。

それまで虫歯0をキープできることを中間目標にしてください。



■ 1-3 初期目標

当面の初期目標は3歳児検診での虫歯0です。

3才児で統計上からは少ない県で20%、多い県だと50%の子が虫歯になっています。
また同一県内、市内でもおおきな差があります。
あなたがプログラムをしっかりと実行し、継続していただければ、
3才での虫歯0についてはほとんどクリアーできると思います。
ふつうは満3才までに虫歯ができてしまった場合かならずとっていいほど
永久歯も虫歯になります。

つまり虫歯になる時期がはやいほどその子は一生虫歯で苦労すると言えます。
その点からみればできるかぎり最初の虫歯の発生を遅らせることが重要です。

しかし乳歯の虫歯を反面教師として、そこからもっと対策に気をつけ、永久歯の虫歯
予防に成功される親子もいらっしゃいます。

もっともこの講座では虫歯菌そのものを赤ちゃんに感染させないことをめざしますから、
しっかり実践していただければ、3才で虫歯になる可能性はじっさい相当低い（ほとんど
ない）と考えています。

あくまでも3才児検診での虫歯0という初期目標は
最低ラインとってください。

■ 1-4 方法と理論

感染対策方法は大きく3つにわけて構成しています。
それらはすべて虫歯菌の感染防止に欠かせず、相乗効果、最高の効果をえるために
かならず指示通りに実行してください。

その3つとは以下のとおりです。

①感染させる側の対策。 【5-1プログラムI、5-4プログラムIV】お母さんや
お父さん、周囲の家族へのアプローチです。

s (3aH a W 8)Á 6ý z O Å U ,x E W
)))))))))))))))))))))))))))))))))) O P 9iK78

« ! 8)Á 6ý A Å :•H a 2 (3aH
/,- K78

6 ‡^ . *+ 'i " OPKd•*+/067 K!!K → Ø6• 1
mnRop qr R •, K•CB 9Q ,,,,† G Ø 9YZ O ,+
(> AG++,678
" OP42 K.H-abB0E7,>3 »c (ÿQ+d•*+,678
„=,+ ¢¥ \© =,+ op '31 kî 77 K, H. ' K - š' R
N± qr •, (uv *+ ,678
á ' 'µ ® ...T 9i Æp - ^Ê y " y Z V (° B9,^1aQ!3
¼, VBBbCD ^ "#>0V ø 9, K78
V - !S (° B9U+V,,2,3!2K 9UR !!K U , ,
,,,† ¥f!21K.H 2,3!2K78
Æ (° B9, 2 2\ ¥ª+V ,DS \$• K (± 3‰Š 1 U90678 Ê

Wy ý6 ?@ x i K
?@ ~1 Kv\ 9aS!9C9, • ß K78
9e9C • EM ' áà ü' ² Ý R V ô f2•-BCK78
M' áà ü' ² >3 ? ³ nK 7H K78
2,Q+V ® ...T}~ 9 Q+BC <3 }~ *6• 8

, ' l< ,Q Q b µ 9b!01K./1Q+*632R
/2BC Ø• µ uV 1 u 0) [[DB*, BC K78

9b!01€* €• (µ %È 2,,678
! %È ,l ' l(ç6H 6K û p K ^ 60678
%È 7H6K R E W¶ BC 1=!0678=>< X È] R BC K78
B< ,l ' l< (•D 0!\CS C³ï » K78

<S} ™ <S'i }~ 7H!2 9U90678
V - . ĩ » K /06• 8
I , < l> } ™ 9Q+BC° 9i >Q+ *+*63%Š /0678
KV<S 6-6-DOQ2 ® K7 Ÿ 8 • 1 =,+=.6* Í 38

ef 4 ?@< - Q+ 20U KU-:,8
<S1 KV/H* Š\Š À V9H K78
a > 9CDK /06• 1R
9CD 2V U \678

Wy ým O# ~' á 1
!|È ~' á 1•60 Ÿ C,
R BC W 1 :•9,YZ R :•9,YZ (=*\H!2K

r (° * BC » Q+ VC, R
s ?@x ì (ghK à •9•T g Bb•R
« —~R ,••: ßž ,+VC3!2 K78

=]: R= < : =^: ¼ O „_ 9Q+VC,678
!S6K „_ M LMb» K 1K.+BC<S ½ 7HR
,b!• S' >39V K* 8
,69=#K 9Q C LM 7Si,,
2,3 ¾| /E6Q v\YBC'2 i ĵ a •+,6• 8

B „-mK/H š> á ' 'µ R C ° Os ' 9iK - À V6\BC
LMb» BCα¥ b» „_ M BbQ+,678
mx•Kü0 > K,H K78
„ \© K "# €x ü0':S+*6 ,6* 8

! [È š› „-m €Õ <U* n K7 K

"# ¢ ®2 Ò 9HBV*S6• 8

"# ¢ ®1 £ Á ¢ ®K/H!2 , - , - 9 \© K , bS+,678

6 | £ Á ¢ ®"#" ¢ ®K/H!2V>U/0678

„ \© KV £ Á -m •ú à 77 K,678

"# ^ *+7Ø+ Ž Â \© K -mK /06• 8

„ ¢¥ _ M . *+“91C”# ã ~m R•-m K78

(Äf *R/60p®*+,9aS! {} B9CD• Å *678

£ Á •ú à Z(! \$% K™ tO *+U-:,8

<S 6 1,9U/9 ›TR=^: ›T(g ~*+USHK* í 38

Wy ýX ^iV R *-,

R p® *- , K^iV ^ 60678

2\| Æ= Æf U,Ê Ç °-aK /06• 8

û •² 1•60 o f V Æ= f2•K78

!iV 1/Q+V< 66'Q+ È U R 1,678

!SV Æ= f2• K78

R BC/60B6Q+VC\9,^iV 2+V ¼, K78

7Ø+ , 1 fi, K ¼ ¼ 9Q+,H [O V ' :S+,678

, ´ I ³ ‡ 7Ø+ R @A K78

® ...T6K R *- ,K78

Éf K.HV K /06• 8

!iV R >Q+ÃCS+,H!2(-Q+U-:,8

:•H9 CB ĐÑ 1/H K78
<ÿ š t 1 K78

Š\ ^iV 16Q U9, # \$ R Š! (VQ+R ^ Ê (VQ+j I 1K.678
=<CU r U9, { | R U: 1/H^R 2 ¼U LM * ^ R
Ë À1•6,I,(7H!2 9H>39 ☒ 1*678
<S R 1< ^ 3T €• («¬ *+*63!2 9H BC K78
<*+ €• ,B Kgh €• V==.U «¬ :S678
¬7H ^iV RghR>T R *-, 9 K78

,B ¼U R 1ï ì í ,V(< # * f KR
!iV ©\+,HB2I32 ' 23 Î 1 Ï A678

Đ ^ (©\H " 90E7U:•H K78
B< ^ 1 *+ ,9aS!< 9<KVI ÑÒ K78
V - * Í Q ™3 -2 { 0671< Ó 9Cé:S678
V*=^: 1 *9aS! ¢ Ó/6,V (× Ø:• +V
9CDĪ » K 78
* 1Q+ *+9,!iV j I 1 • 1I.U Ô 067 8
QB0¢~+ (,• f =^: 2gh (P Q+/*+U-:,8

Wy ýë î [È •,+
! [È b * Â± Pçà K78
; ^Õ * V j /06• 86 Ö V j ÿ:S+,6• 8
[È 7Ø+mnRop ,,... \© qr >0

報告、証明されていることをもとに組み立っています。

しかしわたしと認識、考え方の異なる研究者、歯科医師はどうしても存在します。フッ素反対派やキシリトール懐疑派、砂糖摂取、離乳食についての意見の相違など歯科医療関係者の考え方がすべてが一致しているわけではありません。

私はこれまでの長い臨床経験と綿密な調査研究および自分の信念と確信に基づいて当テキストを完成させました。世の中にはいろいろな考えや意見があるとおもいます。もしなにか実行にあたって不都合な点や困ったこと、疑問点などがありましたらご遠慮なく質問、相談してください。できる限りのサポートをしたいと思っています。

■ 1-9 親の権利と義務そして責任

親には自分の子どもを育てていく義務があります。そしてそれは同時に権利でもあります。また育てていく過程においては責任が発生します。安全に、すこやかに、安心して暮らせるようにやさしく時には厳しく導いていかなければなりません。

「こどもは親の背中を見て育つ」とよく言われます。また「子どもを見ればその親がわかる」とも言われます。すなわち親子はどうしても互いに影響しあうのです。

成長するにつれ、だんだん親の影響力がなくなりますが、こどもが小さいあいだは父親、母親は絶対的な存在です。もし親がこれは白だとおしえれば、実際は黒でも白になりかねません。親の育てかたしだいで子どもの人生はまったくかわります。どうか尊い意識と向上心、そして自信を忘れないで下さい。

î èi K ÆQ_ 9 €• KT6S+.678
›T(7+.9R à •9V *+/ª+U-:,8
< !2(,•V » îî x Q+ (j++/ª+U-:,8
=]: R= < : ` , R ĩ RE:*: B9CD • b067 8
9,gh9 !SBC e ,›T >. O!çO290
Ba1\ 9, •Ž 9HK* í 38

Wy ý y [j ñ ñ 2«¬
[j ñ ñ 2«¬ ,6:C U 36KV/06• 1R
!› 9Q+BC [j1'2 i=!9bS+,9,!21 t K78
[j liV 2.-aK9U [* - ›+BC # î «¬-2,\678
,39S!³T ò 1›TK ...µ <n K78
V 42(-C9,!2'i ø ,!2 9UR
-C9,1 ž7H!2 1 ¼, K7 8

&-C9,V 42R YZR ' <S(-C9, › 2Q+ Ø j *+,9,R
½K.9,2,3!2K78
•60& %B'(-Q+,H›2-C9,›K R
< & %B'1 ñ !9V K/Si/H'ixU Ò 9H›T 90678
đ O ú à T ‡ ...R_... ñ) ñ • ° à ò • à ó ô ,bU
& -® °K/H '28! [ÈV*B0K78
! [j\$% n (*C9,› (ç~K.9, K
!S6Ki=0R
R BC^W 13•Q+*6,Rœ Ó K { 0²aHK* í 38

KV ,p@(VQ R ò •9 /9 =^: » bS678

お父さん、お母さんであるあなた方がこの教材プログラムを実践して
赤ちゃんへの虫歯菌の感染をふせいであげられるからです。
さらにその子どもさんすなわちあなたのお孫さんも安心です。
いまより先はずーっと虫歯菌感染の予防ができる家系になれるわけです。
これがまさに教育の重要性、必要性そのものです。
本当に必要なこと、大切なことを次世代に教育し伝えていかねばなりません。

大人にこそ真に役立つ教育が求められます。

子どもを育てていく上で欠かせない情報、知識が不可欠だからです。
もちろんすべての人に伝えられることは理想ですがそれは現実的ではありません。
なぜならあまり意識レベルの高くない人にはいくら大切なことを伝えようとしても、
受け入れ態勢ができていないため残念ながら伝わらないのです。



■ 1-1-1 歯の生涯価値

あなたは歯の生涯価値について今まで考えたことがありますか？
おそらくほとんどのかたがないと思います。
仮に試算してみると虫歯のない健康な歯は1本100万円相当の価値があります。
著書に1本1億円とか書いておられる先生もいらっしゃいます。

まあそこまではないとしても、

わたしは少なくとも1本100万円の価値があると確信しています。
すなわち28本すべてが虫歯でなければ口の中には
それだけでも2800万円もの資産価値があるのです。
ここではその算定根拠は省きます。

自分の歯についていつもは

まるで空気のように普段はまったくその存在すら意識していません。
でも、もし空気がなければ困ります。困るというより空気がないと生きていられません。
同じように歯を失いかみにくくなるととても困ることになります。
ひとつだけ空気とちがうのは死ぬことはない点です。
しかし歯の喪失は健康状態はもちろん、多くのことに影響します。
歯も空気のようにそれがなくなってからでしか本当の大切さ、価値がわからないのです。
だからこそ前もって虫歯や歯周病を予防するのが困難なのです。

でもあなたの赤ちゃんは幸運です。
生まれながらにして、意識の高いご両親によって
大切な歯を虫歯菌感染から救われるからです。
とてもよい環境で歯がまもられ、虫歯にならなければ
その価値はその子の一生にわたり維持できるのです。
ご両親の歯も同時に守られいくはずです。

もちろん2800万円に相当する資産を守るのですからそれ相応の実践は必要です。
しかしその内容は決してむずかしいものではありませんし
実行、継続の意義があるものなのです。
いちど習慣になればご家族の歯は良好に保たれ健康な生活がおくれるでしょう。

Wy ý y 2xÀ2 .ó

xÀ gh } x /> *67 8

1¼U'Q+,H'igh K e T.*+,H2,3 •, 2 ¼U/0678

ÿ qrKV>U Hf2 /60 9,f2>0V

» >H ± ² •CB fU,!2Æ 6\ yÊ1 ' :S+,678

T6S+UH=^: æ¥ R

QR Š À ± ² (Ô C7!2K

RŠ ÀVgh 9H baK78y i! - B 6: y z ç(K78

4?@x ì K æ¥ ü0 ›[!2K

1, k5Ø? 1T6S § 9HbaK78

z H œBC gh } x R³ ‡ p®1 g B3!2K

{| (± ,E7, À œÆ6 m H œÊ 9Q 2. R

2+V l.9N ±ù ¹ R—~ 136S678

,•3 f2 UCØ+³T Š\ K x ØCSH%oŠ 1 60678

!S = 0 Kú ,SH!21K.6•8

,6 R • ë (Ê)~ ›1 u S ÆÖ\ u S R u S Ê 9Q+,H K78

(¥f!2 R (¥f!2K

¿ † RŠ ÀR Š\ 1 P S

³T ò Š\ KB +gh } x ~ - V9H K78

K7BCR W 'iE01, /H !2
'B /60 9,K* Í 38

Wy ý yz £ Œ±Ô
,6 i R"#K V \$• V ¿£ ŒW2)a±1S+ ,678
4 v >3 V \$• V öö K /06• 8
•60 R \$• 2,3 Ó-9 *. ö ” (/91 V XH!21K. H K7 8
T Ö µ¶(B\SI/9 ŒBC 9* 9SH K78

!iV (:• H E +*, K7 8

6 6K.H K 9UR :•CS+,H K78
R 1/60p@*+9,BC ßž B9, K* Í 38
.•, \ K71R!iV Q ,H R 1 (,3\:(©\
« f † (ÃC•+,H>39V K78

6 •K m Ë ^1 9Q+,H,6 €• i3v\+V¼7 f +' 23
"K906• 8 ,...† ~" 1 OàK.H K78
i3 v *QB02! \$%(™ tO*+=^: (6VQ+U-:,8
9Q+ %Z V LM 7H # î VQ ,9 U ¥İ 9 !2K78

,UCv\+A+V 9Q+,!,2 %V 9, K78
4 v >3 ô K7BCR " *U O P 7H!2K ¥ K.67 8

おさない時期に虫歯菌に感染しなければ一生虫歯〇は十分可能です。
わたしの予想ではおそらくいずれ虫歯のある子はめずらしい時代がくるでしょう。
将来的には虫歯菌ワクチンもできているかもしれません。
でもあなたはそれまで子供を産むのを待つわけにはいかないですよ。
しかしこの教材があるから大丈夫です。
しっかりプログラムに取り組んで一生虫歯で苦労しない赤ちゃんにしてあげてください。
いま、楽をして、一生苦労する虫歯にさせてしまうか、
いま少しがんばって、一生虫歯にならない子にしてあげるか、
それを選ぶのは、お母さんそしてお父さんです。
ぜひ虫歯の次世代継承をストップさせてください。
そのためにこのテキストを作ったのです。



■ 1-14 感染症とは

感染症としてはかぜやインフルエンザ、エイズ、食中毒などが代表的なものです。
生まれながらにしてひとがもっていない細菌、ウイルスなどが
体内に入り増殖することを「感染」と呼びます。
そうして起こる病気が感染症です。

それはひとからひとへうつる伝染性感染症と
伝染しない非伝染性感染症に分かれます。
虫歯はインフルエンザのような伝染性の感染症であることがわかっています。
伝染性感染症はワクチンが開発されているものも多く、前もって予防接種をおこない、
感染しても軽い症状ですむようになるものもあります。

しかし虫歯用のワクチンはいまだできてはおらず、まだ当面できる気配はありません。
虫歯ではミュータンス連鎖球菌群がその最も強力な原因菌です。
ミュータンス菌にまったく感染していない人は日本人の場合数%でしょう。
正確な統計はありませんが5%以下であると思います。

•60 *9aSi jô *9,baK7BC
:\2S C :aCSH baK78
KV -@19, ,6V £ Œ(!\+ 1=!Q+,H K78
2U "# q 1 ,m K7BC
/9 6b0 ø þ N E ÚÛ †þ N V¼U9H!2Vα ` :S678
KV< 9 o -9f2 !2(ß 7H!2 6Q U/06• 8
:•9U+7 [9CR
R 2*+ :•9,K/a '31,, .6Q+,678
ô „...† ¥fØ.V K78

2.i.]^ 2,3 U ,Y(7H TV=CS671
"G !S]^ K /06• 8
]^ 2] R •nER Žé 9iK *T6S+ . 2.
7K *+,H [O (,,67 8
þ !" 9i K]^ 7H!21/0678

"G]^ K 9U Æ•!Ê(i * ö # /+ 60678
-BCα¥1%Š9 K78
ô K/Q+V]^ 9C,•f!21K.6• 8
• \$ † 3•HV 9 K *- ,K ¥ K.H K78

Wy ý y 6 öö 2
öö 2 T6SH2.< ^ öö ^ /CB R BC)a±,-
1 ,Q+,H!2K78
79b öö 1 ĐÑ # \$,•3T6S+BC V3α¥7H!21K.6• 8
,• < ô€ 1/CbSHB bB06• 1,DS !0678
, - , - 9 • ß R öö 1 . ' *+,678
"f R • à %O• s R \$ öö • ß 'B öö 1 . ' *+,H
α¥* U, K78
öö → 0 1 , • ß 'i 12S6• 8

<S1 • †9 €• 6K9Q 1,, ÷øô K78

6Q U 19U+,, '2 iBBQ !219,›

_` ,*+2U 9 V (VQ+, 6• 8

<S * K ï K_`K LM ()a !b, à R ï ,l,(¼U* 'i

,E9 (V _` f C, 9H>3K78

³ _`1.CbS+,H <3,3 ~ ë 9ba BC K78

'2 i ›1 =:9, ‹ LM K ï A(3a R ,E9l,((i †

o p® •ú àK + \+,H K78

K7BC=29 9Q+V ç * Òª R, AK _` ,. 1C9,f21¼U

§ 9Q+,678

V*^iV 1K.D _` ,* , (V D jQ 9C

{| † V _` ÷ø (B H!29UR,, BB0E7U %oo<JK 1

)aE7U90678

_` ÷ø» (x •› K.H-a,, ¯. U9, K

2U ï AV9,2. JK „_) ,U!2 ,•3 /06• 8

•, K * \ f2 ç *, AR÷ + K „() K *6• 8

<) K 1=US1 90>3EU |) * 2. 7K

ô€ 1 *+,H K7 8

„ ÷øô <S'i £n K t 9Q+,6• 1

† "#› 1 -m 9BK €• 1bH, ! „ ÷ø» (B Hf21

B90 ¼,!2 /H K 9,B 2 ,- *+,678

,i „ LM ‹ !b : (= . \H2<S (i p® !0T ò b 0 œ•(

=> . 7 !2 9H K78

K7BC :•D 9 QR n §“(!iV /\+/#H!2

2+V7!C*,p /H G p ï 9!2-2 U \ H K7 8

Wy ý y X žCSH¼I9N ±ù 1R úû á ù 1

! [È (ç o 7H!2K\CSH

~ 1 *9,!2-aK /06• 8

<S>p V ž †Rz ž † ==U N ±ù 1V C:S678

<*+ 1 ! :• 9,!2KžCSHN ±ù 1R / •,+V

U: /0678

<SC !2 ß 1 ž ,+,Hf21iS-a,HK* Í 3B ú

- -Q a (V3, i 01 A+,.6* Í 38

• j l 1 • ÄÔ

» ð19U9S!j l *+,U3\K 1 • 1==.U W0678

9e9C ' s = Ð ^E 9i ýp*9U+7 [BCK78

_ ^U V À yR ` K,, DK7*R 19, K

>U x Ø+USH gh9 ^j•K* Í 3*R2 BU ,!2 DU K78

• j l 1 g *U9H

<*+ 1 • 1 WH!2Kj l ^ Ê 136S g *Uj+H!21K.678

E . 7H:6569 2 Ò ß (•Bb9U+7 [BCK78

- 3 † Ø?

!S o f K.6• 8 9H2 LM , U " € ½1BB0678

,l _ M9iK o x 9H2*+V &) BBH< n Rú n (B 1\Si

2+VI.9 90678

<S Û \ =B/: R= < : / C*, 1K.9U9H!2K

< LM € V Ó ¬ 90678gh9 y# y ö kî —~1/0678

T6S91C VQ+,H< w Ž (P H!21iS-a 3 †B

%Z V (LM * ›9C7f bBHK* Í 38

Š\ (%#V ± Q+<S(C 3 %4 ö ÿ VBa+ LM 7Hf2V

,H K78

- 5 " RBA \$ b•

9, *QB0B [^ j+ !R 5 "1bHU90 UU90678

B 9,^1 ~ \+ =0 <S 2V9, B A/b• t /H^ V 2+V¼,K78

*QB0 B H^ 7H 19,!21 O #K78

- !iV j jR 6 j (3917

¼,^ -Š R t z K j j1 § SH!2(N ± qr`1 ' *+,67 8

9CD ì (B [!2K » À2V j 1391:SHbaK78

- Š! R Š é »

Š\ ^iV1³# V9,^K/S!

<S 2+VI.9 Š! R Š 7 90678

H 6KxU 19,^ ,6 6-6- ¢ 9, K R

• K › T 1 [B \CS C<S ^iV 2Q+V R 2Q+V

! C*U Š 7 *+,!2K 9,K* Í 3B8

- 8 M ü ù ¹ Ø?

!S =]: 3S*,!2K71R ì (~ú ½7H!2K

8 Müù 1 Ø? V <= K.678

8 Müù 1 Ø? (<= 7H x •>0R x Ó z \ 6\ ì (B [2 Ø? †K78

,•V x Ò(- >UB K x ØH -aK 8 Müù 1 9H!2

,,...† VbBQ+,678

<S [ghZ - á • PB OM § 2,bS>U-CS+,678

x , ö • R 9 α Þ K78ef>UB K Ø+U-:,8

<*+ í 3D ì (½*+U-:,8

•ŠŠ ÀR?@ A 9

!SV2+VI.9N ±ù 1K78

^iVW ð¥ 6D ŠŠ ÀR?@ ; 9 QR 3 †1 ø CS 678

R Q b 1 1 C < C < K }~ !iV 3•Q+*6,678

6D R ± 2 (WC7!21 O # /H K78

<S1< 66 W ð¥ •91Q+,UbaK78

•Š\ 1¼U'•H

!SV ě †9N ±ù 1K78 ð¥(,U Š\ 3 †1¯. = U!2K

{| '•H 2 1,\678

K.H-a ¶-< (í 3D 5 0 ! \H!21 Š\ (6VH!2 •910678

<S >0³T š K Ø C SH%Š 1 60678

• Q > ð¥

? 1WH!2K Q > ð¥ V90678 :C ì (½7H!2K

\ @1 A -* :C Q > ð¥ Ø? •910678

• B E 0 Ø?

ì (B [!21 B E 0 Ø? (TA678!SVÿ qrKbBQ+.6* 8

' P ü MP ' Ø? 1 <= K.678

•¼ [ð¥

B ,B 6- . ' 9, ® K71B [!2K ì1>U90
6 1 Ö * ¼[ð¥ V•91H!21 ' :S+,678

• gh } x R ~ -

(...X ³ †* P Q+,U!2K³T š K ØH!21K.

gh9•1 } x *E7U90678

2 2gh Z .ó *+,H!21 bBQ+ ,678

gh9>T(=U0 aS! Š\ (K.HB f 0 e U¼U'7!21

< " é 9 K78

•à •9 ›T W A *HØ

6-6- B ,f2 6Q U ` C K.9,K* Í 31

x ØH g *A ›T• * K VQ2Vl.9 g *A-2,bS+,678

x Ò(Š\ K x ØCSH 2R u S K ØH K

x ØH2,Q+V6Q U Ò 90678 u S K =,*U x ØCS9, K78

³T Š\ K x ØCSH › Ÿ•2+Vl.9J"(ú 7H!21

K.H›9 K78

Wy ý y ë üù à ‘

= D S:6K* 8 y OP ,B1K* B û

! OP x•1 EF †K7BCEE¾A U,2! - V/Q 2l,678

6 Õ >39!2(G 0 E * Ö \ V/0678

<S 7Ø+ ÀÁ † p»*+ V K78

KV! (H / Q+R

ef2VŸ š †c*+=,+*,!2(.6* 8

ef %Z V¾A E *+/9 » H (fC,+a u S • ù (•UQ+

EH ß (+ ,Q+ U-:,8

)a u S • ù 1 \ K .+, 9, 2 Æ 2\H2 IJ K “ K 1 L Q+,9,2Ê

,UC FG• -®(ö \+V Æ,UC ¹ M ² (Mª+VÊ

ç-K.6• 8Æ ¼O ‘ I +6• 8 N 0*+*6,678Ê

! OPK†c*+VC, ,lX9!2 }Ç !2K78

- ① 虫歯菌は親子間の感染で代々うつってきたこと。
- ② 虫歯菌感染、虫歯リスクはコントロールできること。
- ③ いまは知識のある人がほとんどいないため相変わらず親から子へうつしていること。
- ④ 子どもへ虫歯菌の感染を防止することは親自身の歯を守ることにもなること。
- ⑤ そしてそれにより家族全員の健康維持、増進もはかれること。
- ⑥ 歯はとても価値ある存在にもかかわらず、ふだんはそれに気が付かないこと。
- ⑦ 赤ちゃんの虫歯をまもれるのは両親しかいないこと。
- ⑧ 虫歯予防は最終目的ではなく、それは幸せな人生への階段であること。
- ⑨ この講座を習得することでお母さん、お父さんがお子さんの歯医者さんになれば
歯科医院での虫歯治療が必要なくなること。

以上です。少し休まれてから次の第2ステージへ進んでください。

つぎの第2ステージでは

虫歯菌の感染予防に必要な歯科における基本知識をマスターします。

それらはお母さん、お父さんが赤ちゃんの歯医者さんになるために

欠かすことができない大切な内容です。

しっかり身につけてお子さんをそしてご自身をまもってください。

